

Try and Try Again

保原高校 商業科通信
第7号 2020.1.15 発行



商業チャレンジデー開催

商業科2年生が令和元年11月13日(水)～15日(金)の3日間、流通ビジネス・会計ビジネス・情報ビジネスの3つのコースごとに特色ある授業を実施する商業チャレンジデーに取り組みました。各コースの主な内容は次のとおりです。

	11月13日(水)	14日(木)	15日(金)
流通ビジネスコース	インターンシップ 実習店舗：ファンズ、コメリハード&グリーン、しまむら、コープmart、ダイユーエイト、リオン・ドール、セブンイレブン、ヨークベニマル、ニュー木村屋		
会計ビジネスコース	富士通アイソテック工場見学	コンピュータ会計ソフト 講義・演習	原価計算 講義・演習
情報ビジネスコース		日商簿記検定試験 講義・演習	ゲームプログラミング講義・演習

<流通ビジネスコース>



伊達・福島市内の小売店で、販売士の学習内容を実践するインターンシップの様子

<会計ビジネスコース>



専門学校の先生の指導の下、コンピュータ会計ソフトをノートパソコンで実習している様子

<情報ビジネスコース>



スクラッチを用いて、生徒ごとにゲームプログラミングの実習をしている様子

【生徒の感想】

- お客様と関わるうえで言葉遣いやマナーを企業の指導者の方からのご指導で知ったこともあり、就職するのでも勉強になりました。また、ホームセンターで行ったので、専門的なものが多く戸惑いましたが、報・連・相をしっかりと行っていたので、自分の役割を果たせました。(流通ビジネスコース)
- 日商2級なので手に負えないくらい難しいイメージがあったんですけど、先生の教え方のおかげで理解できることができて、自分に自信をつけることができて良かったと思いました。(会計ビジネスコース)
- ゲームプログラミングには興味があり、すごく楽しめた。情報コースの皆もクオリティが高いゲームを作ったり、テスト段階のプログラミングを軽く話し合ったりなど、楽しく学ぶことができた。(情報ビジネスコース)

『だてな さすけねプロジェクト』東北経済産業局長賞を受賞 地域創生☆ビジネスアイデアコンテスト



千葉さん、高林さん、佐藤さん、指導された石井先生

商業科3年生の課題研究〔調査研究講座〕の授業で取り組んだ『だてな さすけねプロジェクト』が、内閣府地方創生推進室主催「地域創生☆政策アイデアコンテスト2019」の高校生・中学生以下の部において、東北経済産業局長賞を受賞しました。

また、令和元年12月14日(土)に東京都千代田区永田町の中央合同庁舎で、全国から選ばれた9組(高校生・中学生以下の部)によって行われた最終審査会でファイナルプレゼンテーションを行い、「日本政策投資銀行賞」を受賞しました。

政策アイデアの概要：伊達市の農業における課題として、農業経営者の高齢化、耕作放棄地率の増加および農業産出額の減少について分析。「柿木・農地オーナー制度」や廃棄・規格外の柿の加工や再利用を通して、市の特産品である「あんぼ柿」の市場価値を維持・向上させる取り組み、農業の活性化から、地域の持続的な発展につなげる提案がされています。

地方創生★政策アイデアコンテスト2019 公式ウェブサイト (<https://contest.resas-portal.go.jp/2019/index.html>)

商業科カレンダー

- 1月14日(火) 情報処理検定試験課外 (～17日(金))
- 19日(日) 全商情報処理検定試験
- 21日(月) 課題研究・商品開発 発表会
- 21日(月) 簿記実務検定試験課外 (～24日(金))
- 26日(日) 全商簿記実務検定試験
- 27日(月) 商業経済検定試験課外 (～31日(金))



プレゼンテーションの動画は、「地域創生☆ビジネスアイデアコンテスト」のサイトから、「最終審査会&表彰式」に進み、アーカイブ配信で視聴することができます。保原高校はNo.7 1:11:00～1:21:10です。大変素晴らしいプレゼンテーションでしたので、是非ご覧ください。